

南相馬ブログ新聞

インターネット上のブログ(日記の一種:掲載許可済み)等からの転載です。執筆者は南相馬市関係の方(滞在の方・避難された方等)が主体です。**内容は個人の意見であり公のものではありませんがそれぞれの立場での本音が書かれています。**同じ被災者・市民同士の生の意見として参考にしていただければ幸いです。

編集・発行 NPO ながおか生活情報交流ねっと soiga01@gmail.com、
今まで協力いただいた先(判明している所のみ):長岡大学、同学生有志、長岡技術科学大学ボランティアサークル、飯田ボランティア協会、山古志村のマリ 配布協力避難所:新潟県長岡市内・湯沢町内・見附市内・小千谷市内、長野県飯田市内・豊丘村内、ほか

新聞 PDF 置場 <http://www45.atwiki.jp/soiga/pages/137.html>

南相馬市から8月10日朝 サイヤ社長のブログ

福島県南相馬市で青果食品惣菜スーパー「Saiya」を営んでいます。新鮮な話題をお届け！ 2011-08-10 05:26:14
<http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/b8e76a2505961677c8e67c353993d781>

『心因性避難民』市長が雑誌アエルに掲載された中に書かれてありましたが、私はまさしく自分もそうだと思います。

人の事ではなく、自分自身が日頃は気づかなかったのですが、そういわれて今は避難民ではないですが、心因性住民であることは、間違いありません。

昨日もある商店会の仲間の奥さんと話しましたが、たまにこの南相馬市から遊びに他の地域に行ったりすると、気持ちが楽になる、リラックスできるのは、何でも無いように南相馬市に住んでいても、やっぱりどこかで緊張や心配している気持ちで生活しているせいなのかなと話していましたが、まさに私も同じ気持ちを感じています。

だからこそ、少しでも放射線の値を下げる除染をし生活状況を改善するしかありません。子供達の事も少しでも安全に過ごせるようにしなければなりません。鹿島に通ってストレスをためていくのは良くないと思います。通常の学校生活に戻すのなら除染しかありません。

なにかしていなくては、ストレスや心配事を解消できまいのな

ら、行動するしかありません、その行動が少しでもこの町や自分にとって有意義な事であるように考えて行きたいと思いますが。

すべては自分自身の考え方ひとつです。みなそれぞれ考えが違わなければならないから、自分が良いと思う事をするしかないのでは、それには多くの情報を得ることから正しい行動にたどり着くのだと思います。

南相馬市から8月11日朝 2011-08-11 05:18:36

<http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/b141d43adb00d1f201cec5146ee37939>

年間の放射能の値が1ミリシーベルトから国の基準20ミリシーベルトから100ミリシーベルトでも大丈夫と言う意見まであるようです。

飯館は20ミリシーベルト以下になれば帰ると決めています。市長、住民の判断です。

南相馬市はどうでしょうか？ そういった話し合いはしているのでしょうか？ 市長だけに判断させる問題でしょうか。

国は20ミリシーベルトと言っているのなら、それに従うのなら、南相馬市は問題ないはずですが。

でも、安全とは誰も思っていないですよね、それは市長も同じだと思います。国というのは人ではなく概念の塊ですから、20ミリシーベルトと決定できると思いますが、身近な町の市長という立場では、国の言う事と現場感覚(市の存続)との間で苦悩しているのだと思います。

市議員はわれわれ市民に近いはずですから、責任が市長よりは少ないからなのか、危険だとか帰って来ない方がいいとかいうのは簡単なことです、帰って来れるには、来させるには、住むには、どうしたらいいのか、なにをすればいいのか、を教えて欲しいし、市民に呼びかけて欲しいですね、市民からも自分達はこうしたいけどと言う要望を出していかななくては、上からの指示ばかりを待っていたのでは、何も解決しないでしょう。

今日、『移動カフェ 桜隊』がサイヤにやって来ます。彼らは他の地域のボランティアの方たちです、そういった人たちがこの南相馬市をなんとかしようと頑張っている、彼らは何かあると市に直接掛け合って行動しています。

すべては、南相馬市を良くしたいとの思いからです。ここに住んでいる住民が本来すべき事を、見本として見せてくれます。

この南相馬市に帰って来なければ、住み続けていたければ、行動することです。人に言われたからとか、決めてもらったか

らとかではなく、自分で考え、行動することです、後悔したくないのなら。

南相馬市から8月11日夜 2011-08-11 19:52:47

<http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/9f51dea4fc05237c0077492d982f4e19>

今日で震災から5か月ですね。

『反省』 不安な気持ちで頑張っている人にもっと頑張れというのは、酷な事でした。

この5ヶ月の国の対応を見てきてもわかるように、誰にも正しい判断が出来ないほどの災害だという事だけはまちがいありません。

私自信も、商売を続けられるのか不安でした、ここで暮らしていいのか今でも、心配しています、だからNPOの方たちの話を聞きに行きました。少しでも希望のある話が聞けないかと期待して行きましたが、残念ながら自分の思っていた以上に厳しい話ばかりでした。帰ってから妻に話したら泣かれました、一時は落ち込みました、それでも何か出来る事は無いのか、希望は無いのか、探しました、たどり着いたのが除染です。少しでも放射能の値を下げること、低い値の所で生活することです。その為にはこの町の現状を知る必要があります。だからチェルノブイリ救援の方たちが線量マップを作ってくれました。そのマップで自分の住んでいる所の状況が少しはわかるはずです。

わかれば、対応する手段が出てきます。そこで除染事業が始まります。雇用するのは50歳から60歳の方たちをお願いしますようです。

高齢者の雇用対策として考えているようです。

除染も1年で終わりではないです、2年、3年と続けて行き、年間の放射線量1ミリシーベルトを目指します。おそらく南相馬市全体がそうなるには5年以上かかるでしょう。この町を残そうと、避難している人たちに帰ってもらおうと、決断したわけです。それが大規模な世界でも類のない除染活動です。

NPOも方たちの活動にもお金がかかっています、その方たちを支援する方法のひとつに救援金をカンパすることも、間接的ですが活動することになると思います。体を使う人、知恵を出す人、お金を出す人、物を提供する人、様々な事が出来ると思います。まずは自分が出来ることを考えて、行動するだけです。しなくても、出来なくても、誰も批判などするはずがありません。

すべては、自分次第なのだから。

#####

生き地獄のような苦しみや悲しみ・・・原発震災避難者 負けてらんねえ！ みんなでなんとかすっぺ！！

南相馬市から新潟県三条市へ集団避難した者たちの現地報告です。 2011-08-11 08:09:44

<http://blog.goo.ne.jp/minamisoumashi-hinan/e/f697cddca3762e53b9ee0d318578a76b>



いまだ収束の見通しが立たない福島第一原発事故。

根拠のない安全・安心神話を振り撒き
リスクと利権を天秤にかけて
利権を選択した「原子力関係者」たちの所業が招いた「人災」は
いまも 被害を拡大し
汚染を進行させ
われわれの暮らしを破壊し続けています。

すべての日本人に 一刻も早く
現在の福島県内の被曝量は
とてつもなく危険だということを・・・知って欲しいのです。
そして いずれは日本中に・・・。

これまでの生活の基盤をまるごととりあげられて5ヶ月・・・
多くの福島県民が味わわれている
生き地獄のような苦しみや悲しみを・・・知って欲しいのです。
まもなく 緊急避難準備区域が解除されようとしています。
さて 何を根拠に 何のために・・・でしょうか。
今日で5ヶ月・・・警戒区域からの私の避難生活は続いています。

#####

小高区や浪江町への一時立ち入りの中継点

南相馬市馬事公苑からの便りより(8月9日)

南相馬市馬事公苑では週に四日間、浪江町、南相馬市の一部(舟高区、江井、小沢地区)の市民が、自宅への一時帰宅をしています。二十人ずつ防護服着用、マイクロバスで自宅付近へ向い、二時間という時間の中で70cmのビニール

の袋に詰め込めただけ必要なものを詰め込み、また団体で馬事公苑へ戻ってきます。

この暑い真下、防護服は暑そうですし、たった二時間とい拾時間での作業は大変のようです。冷蔵庫などは開けたら大変なことになってしまいます。電気釜を開けた戻たんすごい量のカビが溢れてきたそうです。

また、二週間に一日、マイカーを取得するために、また団体行衆で自宅などへ向い、バッテリーの上がった車は同行したJAFのスタッフに充電してもらって、自分叔運転して戻ってきます。

パトカーを先頭に、本日は16台のマイクロバスで約320人が自宅へ向います。



防護服を着衣し、バスに乗るところです。11時ごろ出発し、14時過ぎに戻ることになるでしょう。



#####

「追悼」と「復興」の花火

どっさりんこ (2011.08.11 02:46)

相双ゆたどさ ゆつたりがどっさり。～ふくしま相双相双～

<http://yumesoso.jp/yutadosa/archives/3582.html>

(編集より:すでに終了したイベントの告知ですがその開催意義が書かれていますので掲載いたします。)

今日8/11で、あの震災から5ヶ月が過ぎようとしています。まだまだ不安の生活を送る中、被災地各地では「鎮魂・追悼」を込めて祭りや花火が行なわれています。

相双地域でも、『相馬野馬追』も規模を縮小して行なわれました。

そして本日、被災地3県10箇所、「追悼」と「復興」の意味を込めて一斉に花火が打ち上がります。



画像は、例年7/24に相馬野馬追出陣騎馬の凱旋の安全を祈り開催される今は東京電力原子力発電所災害により立入が制限されている小高郷の火祭りが今年、緊急時避難準備区域内

南相馬市馬事公苑 覆馬場(屋内馬場2, 800㎡)=/DIV>



覆馬場の中 本日(7月14日)は小高区、原埜区の一部の一時帰宅、説明会風景。

ペットを一時預かる、動物愛護団体の方々も来ています。



の新田川において打ち上げられた花火です。

『LIGHT UP NIPPON』

東北を、日本を、花火で、元気に！！

2011 年 3 月 11 日、東日本を襲った未曾有の地震と津波に被災されたひとりひとりが、ふたたび明日へと歩みはじめるきっかけをつくりたい。

被災地の悲しみや苦しみが、私たちの想像をはるかに超えるものだとして、生きること、生き続けること先には、かならず希望や喜びがあることを改めて感じていただける機会をつくりたい。

そんな思いから私たちは、この夏、東北の太平洋沿岸で一斉に花火大会を開催することを思い立ちました。

本来、花火が持っていた「追悼」と「復興」の意味を込めて。

被災したひとつひとつの町が、自らの力で花火を打ち上げることで、東北を、日本を、明るく、元気に。

本プロジェクトの趣旨にご賛同いただける方は、ぜひご支援いただければ幸いです。

どうぞよろしくお願ひ致します。

LIGHT UP NIPPON 呼びかけ人一同

福島県では、いわき市、会津美里町、そして南相馬市！！

3 県 10 箇所 で 19 時～、東北、日本を元気に花火が一斉に上がります。

下ばかり見ていた顔を、19 時に空を見上げてみてみましょう。そこには花火を言う綺麗な「花」が夜空をいっぱいに咲いています。

花火を見て、出来た笑顔をみんなに見せましょう。

周りの方々もきっと同じ顔をしているはずですよ。

そして小さな小幡でも良いんです、一歩先に足を出してみれば！！

この花火には、全国の沢山の方々の協力があります。

協力にも感謝です。

どんどん震災・原発の報道は少なくなっていますが、まだまだ全国・世界の方々に支えられていることを忘れてはいけません。



[主催]: みなみ相馬追悼復興事業実行委員会 ・鹿島商工会・サマーフェスタはらまち実行委員会・原町商工会議所 ・原町青年会議所・南相馬市かしま観光協会 ・鹿島商工会青年部・小高商工会青年部・LIGHT UP NIPPON

[後援]: 南相馬市

LIGHT UP NIPPON (URL:

<http://lightupnippon.jp/>)

8 月 13 日(土)にも、相馬市で慰霊の花火が打ち上がります。



[主催]: 東日本大震災そうま慰霊花火大会実行委員会

(URL:

<http://www.souma-fireworks.com/>)

[後援]: 観光庁・福島県・相馬市・相馬商工会議所

#####

ポイントを学んで線量低下を

南相馬市ホームページ

写真で見る東日本大震災【2011 年 8 月 7 日】

<http://www.city.minamisoma.lg.jp/sinsai/2011-08/oota.jsp>

原町区の太田地区復興会議は「放射能の除染について」と題した講演会を開催し、約 80 人が参加しました。講演会は太田生涯学習センターで行い、講師の日本原子力学会クリーンアップ分科会工学博士の天野治さんは、年間 20 ミリシーベルトの場合は放射線量を前年の半分になるよう「地域参加型」での実施を助言しました。

この後、片倉公会堂で除染の実践を行い、線量を低下させるポイントなどを説明しました。



▲説明に耳を傾ける参加者



▲田んぼの放射線量を測定



▲田んぼの除染作業



▲30cm 程度土を盛り線量を低下

#####